

決 裁	議 長	局 長	参 事	

受付

## 報 告 書

平成 2 8 年    月    日

湯前議会議長    山下 力 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成 2 8 年 5 月 1 9 日（木）
場 所	西都市、西米良村、湯前町 ※湯前町（出発式） → 西都市（解散式）
目 的	国道 2 1 9 号現地調査（三市町村議会国道整備促進合同協議会）

報 告 の 内 容	<p>◆研修内容</p> <p>1. 工事概要</p> <p>西都土木事務所と球磨地域振興局の案内で、三市町村（熊本県湯前町・宮崎県西米良村・西都市）議員による国道 2 1 9 号の現地調査を行った。</p> <p>国道 2 1 9 号は、熊本市から宮崎市に至る九州中央山地沿線の経済活動を支える大動脈として重要な幹線道路（約 2 0 0 k m）である。</p> <p>整備も年々進んでいるが、特に西米良村から西都市区間において未整備／未改良部分の がまだ多く残っている。平成 2 8 年度は、3 工区が計画されている。</p> <p>平成 2 7 年度事業費は約 1 7 億 4 千万円、平成 2 8 年度当初予算は約 1 1 億 7 千万円 で、前年と比べて大幅に減少。</p> <p>本年度予算のままだとかなりの工期となるため、更なる予算確保が求められる。</p>

## 2. 今回視察した工事区間（3工区）

### (1) 国道219号湯前上里歩道整備工事【湯前町】

- ・整備延長300m。
- ・総事業費は約3億円（平成27年度事業費は、用地買収で6400万円）。
- ・事業期間は当初平成24年～28年度だったが、平成31年度（未公表）になった。用地交渉が2件残っている。
- ・平成28年度事業費は、知事選挙や熊本地震の影響で「未定」。建物調査、用地買収を実施予定。



[ ←湯前上里歩道整備 ]

### (2) 国道219号小春工区【西米良村】

- ・整備延長1.7km、幅員7m（車道部5.5m）の拡幅整備。完成予定は昨年度「平成29年度」だったが、本年度「平成31年度」になった。
- ・工区内にトンネル2箇所（347m、483m）と橋梁3箇所（1号橋69m、2号橋69m、3号橋49m）を整備。
- ・第1トンネルと1号橋は予定どおり平成27年度に供用開始。（以下の写真）
- ・2号橋は平成28年度、第2トンネルは次年度以降、3号橋はできれば平成28年度に着工予定。平成31年度までに全ての供用開始を目指す。



[ ←小春工区の第1トンネルと1号橋が完成 ]

### (3) 国道219号岩下工区【西都市】

- ・整備延長1.0km、幅員7m（車道部5.5m）の拡幅整備。約7年で完成予定。
- ・平成27年度に調査・設計を行う計画だったが、平成28年度に延長。平成29年度に岩下トンネル（仮称611m）と岩下橋（仮称84m）に着工予定。
- ・工区内にトンネル2箇所を整備。
- ・高低差が70m～80mあり、トンネルを直線的に結ぶことができない。



[ ↑岩下工区の現地調査 ]

### 3. まとめ

国道219号線の宮崎県内区間約70kmのうち、西米良村～西都市区間は約60km、その内の約2割が未整備／未改良区間であり、緊急輸送道路、観光道路として十分に機能していない状況にある。

宮崎自動車道は築30年を過ぎ、南海トラフ地震などで高速道路が通行止めになった場合、国道219号は重要な緊急輸送道路となる。熊本地震の教訓からも、道路インフラの重要性を改めて感じる。

本協議会において国道219号の重要性を共有し、今後も国・県に対して道路整備の要望を続けていくことを確認した。